

鳥インフルエンザ対策に石灰配布

12月28日、鳥インフルエンザ対策と、年末年始の防疫意識の維持を目的として、市内の養鶏農家に消毒用の石灰2,000袋が配布されました。市内には47戸の養鶏農家があり、鶏260万羽が飼育されています。



コスモス牧場で雄大な初日を拝む

1月1日、コスモス牧場で初日お出迎え会が行われました。前日からの雪にもかかわらず多くの家族連れが来場。東の空から初日が顔を出すと、来場者から歓声が上がリ、写真撮影や拝む姿がありました。



新春の山麓路で健脚を競う

1月3日、山麓ランニングクラブ主催、新春山麓路ロードレース大会が開催されました。小学生から一般男子まで144名が参加。北西方3区入佐運動公園をスタート・ゴールとして健脚を競いました。



無病息災の祈りをどんど焼に込めて

1月9日、どんど焼が細野の牧場にある演芸場で行われました。神事後、組まれた竹に点火。参加者は竹の先に刺した餅を焼いて、おいしそうにほお張っていました。



小林こすもすライオンズクラブが寄付

1月11日、小林こすもすライオンズクラブ(村社巖会長)が、小林市社会福祉協議会(種子田與市長)へ、秋まつりチャリティーバザー益金を寄付しました。種子田会長は「地域福祉事業に有効に活用したい」と話していました。



農業大学の末吉なつみさんは「口蹄疫で学校の家畜は全て殺処分された。ご好意を忘れることなく、宮崎の畜産を盛り上げていきたい」とお礼の言葉を送りました。【写真中央、緑の服が森岡さん】

畜産を支える若者へ 森岡一男さんが和牛を寄贈

12月27日、森岡一男さんが県立農業大学校へ黒毛和牛3頭を贈りました。贈られた牛は妊娠牛で、学生の分娩実習などに活用される予定。森岡さんは「全国からの多大な支援に感動し、何かしたいと思った。これからの畜産を支える若者たちの力になればうれしい」と話していました。



厄年を迎えた男性や、JA青年部が中心となっていく三松地区。どの家庭も温かく出迎えます。

賑やかな厄払いで家内安全 餅勧進がやってきた

1月14日、市内各地でもっかんじん(餅勧進)が行われました。三松地区では31人が7組に分かれて、ユニークな化粧と衣装で各家庭を訪問。明るい音楽のリズムに合わせて踊りながら、その家の家内安全と無病息災を祈り、厄払いのほうきを配って回りました。



市民の生命と財産を守る。 崇高な使命を胸に 消防出初め式

1月9日、平成23年小林市消防出初め式が消防団訓練広場で行われました。

服装や規律などを正す通常点検や、消防車両による、一斉放水を実施。団員らは市民の生命と財産を守るという使命を胸に決意を新たにしました。

【県知事表彰】前原泰典(西諸広域行政事務組合 中央消防署)、大迫章(西諸広域行政事務組合 野尻分遣所)、徳永裕司、徳永光治、福崎弘文

【市長表彰】金松正洋、西田浩嗣、宮崎正浩、田代紀行、黒木一臣

【協力企業表彰】有限会社 すき特産

【小林市消防団優秀部表彰】

第1位…第2分団第3部、第2位…第10分団第6部、第3位…第9分団第3部、第4位…第8分団第2部、第5位…第1分団第5部、第6位…第1分団第4部、第7位…第7分団第7部、第8位…第4分団第6部、第4分団第7部

自分の町をみんなといっしょに守りませんか。小林市消防団では、郷土を愛する新入団員を募集しています。

消火・防災活動や、救助・救出活動などを行う「一般団員」のほか、女性だからこそできる活動を展開していただく「女性消防団員」も募集しています。

詳しくは、各地区の消防協力会長(区長)、または総務課消防防災グループ(TEL23・0220)まで問い合わせください。

消防団員募集

あなたの想いで、守れる街がある。
あなたの想いで、救える命がある。
あなたの想いで、深まる絆がある。

消防団員募集中

空くじの収益金は、身近な街づくりに役立っています。